



# 米

## 田植え前の準備



農業経営支援課  
石川 顕史

### 苗の準備

#### 《育苗中のかん水》

緑化期以降は、根の呼吸が活発になります。この時期のかん水が多いと床土が過湿になり、根の呼吸が妨げられ、マット形状が不良になります。育苗初期は午前中に1回充分に行ってください。

苗が大きくなった後期には1日1〜2回を目安に行います。夕刻のかん水は、温度低下や夜間の呼吸を妨げるので避けましょう。また、風で育苗箱の隅が白く乾くので、板等で風よけを作るか、その部分だけをかん水することがポイントです。

#### 《プール育苗》

かん水作業の大幅な省力化と病害発生抑制メリットのあるプール育苗をおすすめします。プール育苗は、ハウスの古いビニール

ルやポリフィルムを使って、平にしたところに木枠等で囲いを作ります。さらに、ビニールシートを張ったあとに水を入れ、プールの中に育苗箱を並べます。  
**注意**…プール育苗では夜間気温(水温)が高い場合には水を抜くことをおすすめします。

### 本田の準備

元肥は入水前に施用し、混和しておくことが重要です。代かきは、田植え2〜3日前を標準としますが、砂質土では1日前、重粘土では3〜4日前と土質により考慮しましょう。

#### 《田植え前に箱施用剤で省力防除》

田植え前に箱施用剤を散布することで、今後の防除に影響します。必ず行いましょう。

農業名	対象病害虫	残効期間※	ニカメイチュウ	ウンカ類	コブノメイガ	イネミスジウムシ	イネドロオウムシ	イネツトムシ	ツマグロヨコバイ	いもち病	紋枯病
			○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワンリードSP箱粒剤		60日程度	○	○	○	○	○	○	○		
ピカピカ粒剤		50日程度	○	○	○	○	○			○	
ルーチンアドスピノ箱粒剤		虫:60日 病:80日	○	○	○	○	○	○	○	○	
エバーゴルプラス箱粒剤		虫:60日 病:70日	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※残効期間はあくまで目安です。水田の状況により若干前後します。

### 《ジャンボタニシ防除》

田植え直後から防除を行わないと、一晩でかなりの被害となります。(移植後3週間頃までが実害) スクミノン粒剤を10a当り2〜4kg。水中の濁りが澄んでから使用してください。散布後7日間は、落水やかけ流しをしないでください。(使用回数2回まで)